

拝む。

親戚（親類）唯に親戚の者を表わすには、肉親一人々（或は単一に男性、女性）

但し、右頬を人差指と中指で、軽くつまんで肉親を表わしてから次の人々（或は単一の男性なり女性）を示すには、頬からかなり長く離してする。即ち、頬と人々を示す位置とは距離を置くこと。

親切 心—やさしい—愛する

心臓 心臓の位置の胸の上に右手をあてがい、心臓の鼓動のリズムに五指で胸を打つ

新聞 掌上向けて拳にした左手を、右腹脇につけ、これも拳にした右手の腕を立ててその肘を左手拳の上に載せると同時に両手の拳をぱつと開く。

心配 「恐れる」「不安」と同じ手まね。

審判 勝負—監督。

進歩 (イ)「上達」と同じ手まね (ロ) 賢い

「知る」の人差指と親指を開くのを徐々にする。少しづつ、知恵が開けて行くこと。

辛抱 「こらえる」と同じ手まね。

新年 「一月一日」で表わす。

ス

水泳 両手で泳ぐ身振り。

水瓜 半弧の水瓜を両手に持って、食べる

身振りそのまま。

水道 水道の蛇口の上の栓をねじる身振り。

水夫（水兵）「海軍」と同じ手まね。

水曜日（水） 掌を上に向け、胸に平行に五指をこまかく波打たせながら、水の流れを表

現する心持で横へ移動させる。

数学 「算術」と同じ手まね。

図画 「絵」と同じ手まね。

好き（好く）「好む」と同じ手まね。

スキー 両手にスキーのストックを持って後方に突く身振り。

空腹 五指の指頭を下にさし掌を内側にした両手で腹さすり降す。腹の皮がべちゃんこになった空腹。

過ぎる 「終り」の手まねでは、即ち五指の指頭を前方にさし掌を右側にした左手に向って、五指の指頭を左にさし掌を内側にした右手を直角に接近させ突当らせたのを右手を左手の上を乗り越させると「過ぎる」の手まねとなる。

優れる 左手の五指の指頭を上にし、前向けた掌に、右手の指頭を上にした人差指をつけてから、その人差指を上へすり上げる。左手の五指より、右手の人差指が上に即ち頭角を現わしているということになる。

直ぐ 「既に」と同じ手まね。

少し 掌を上に向けて、中指薬指小指の三



指を折り曲げて、指頭を上にした人差指の先僅か下に、親指の指頭をつける。

僅か（少し）見せている。即ち「僅か」、「少し」である。

すし (イ) 巻きすし、掌を下向け、丸い物を掴むように五指を曲げて左右に両手をならべて、前へ物を巻くようにする。巻きすしを巻く身振り。(ロ) 握りすし、左手の上向け掌の上に右手の人差指と中指をたたき降すと、左手の五指で、その二指を握り次に握った飯の上（左手掌）に看をつける身振り。

鈴 掌を下に向け五指を少し曲げさせた手